

|  |   |     |     |               |        |       |                |
|--|---|-----|-----|---------------|--------|-------|----------------|
| 授業科目(ナンバリング)   | 精神保健福祉援助演習(専門)B<br>(DB417)  |     |     | 担当教員          | 安藤 佳珠子 |       |                |
| 展開方法   | 演習  | 単位数 | 1単位 | 開講年次・時期       | 4年・後期  | 必修・選択 | 選択             |
| 授業のねらい   |   |     |     |               |        |       | アクティブ・ラーニングの類型 |
| この授業の目的は、精神保健福祉援助の知識と技術に係る他の科目との関連性も視野に入れつつ、精神保健福祉士に求められる相談援助の基礎的な知識と技術について、実践的に習得するとともに、専門的援助技術として概念化し、さらに理論化して体系立てていくことができるようになることにある。また、ディプロマポリシーにある社会の課題に対する思考力、判断力、表現力を活用し、主体的に問題解決を行う力を養成するために、授業は、ディスカッションやグループワーク、プレゼンテーションによって展開する。そのなかで、学生が、精神障害者の人権と自己決定、及び地域社会における福祉の問題について考えもった上で、精神科ソーシャルワークの知識・技術を、自分の言葉で説明し、他者が理解できる表現の仕方について、具体的に学ぶことも重視する。 |   |     |     |               |        |       | ①④<br>⑤⑥⑩      |
| ホスピタリティを構成する能力   | 学生の授業における到達目標   |     |     | 評価手段・方法       |        | 評価比率  |                |
| 専門力  | 精神保健福祉士の価値や倫理に基づき、ケースカンファレンスを実施することができる。                                |     |     | ケースカンファレンスの実施 |        | 15%   |                |
| 情報収集、分析力   | 体験と専門的援助技術を結びつけ、概念化・理論化し、説明することができる。                                    |     |     | 演習日誌          |        | 40%   |                |
| コミュニケーション力   | 相談援助に係る基礎的な知識と技術、地域福祉の基盤整備に係る知識、技術を、ロールプレイやグループワーク等に参加しながら、考えていくことができる。 |     |     | ディスカッション内容    |        | 15%   |                |
| 協働・課題解決力   | 模擬ケースカンファレンスを実施し、支援方針をグループで検討することができる。                                  |     |     | ケースカンファレンスの実施 |        | 15%   |                |
| 多様性理解力   | グループの意見を取り入れながら、ディスカッションすることができる。                                       |     |     | ディスカッション内容    |        | 15%   |                |
| 出席   |   |     |     | 受験要件          |        |       |                |
| 合計   |   |     |     | 100%          |        |       |                |
| 評価基準及び評価手段・方法の補足説明   |   |     |     |               |        |       |                |
| 演習日誌(40%)は、授業内での出来事(ディスカッション内容、指導等)を日誌として作成し、ポートフォリオにて提出する。毎授業後に復習の課題として課し、授業の内容を客観的に記述し、それに対して論理的に考察を行っているかを評価する。模擬ケースカンファレンスの実施(30%)では、クライアントの支援方針を多職種で検討することができるか、さらに準備の過程でスーパーヴィジョンを活用することができるかを評価する。さらに、授業でのディスカッション内容(30%)では、精神保健福祉課題と専門知識、専門的援助技術に関する正しい理解に基づいて、ソーシャルワーカーの視点から、理論的かつ明快に自分の考えを説明できているかを評価する。すべての提出物は、次の授業内およびポートフォリオにてフィードバックを行う。      |   |     |     |               |        |       |                |
| 授業の概要  |   |     |     |               |        |       |                |
| 各回において、ロールプレイやグループワーク等の具体的な実技指導を用いる。個別指導ならびに集団指導、事例学習による疑似的体験を通して、相談援助に係る基礎的な知識と技術、地域福祉の基盤整備に係る知識、技術を学ぶ。この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、45分です。  |   |     |     |               |        |       |                |
| 教科書・参考書  |   |     |     |               |        |       |                |
| 教科書：日本精神保健福祉士養成セミナー編集委員会編(2017)『精神保健福祉援助演習(基礎・専門)』へるす出版<br>参考書：特に指定しない<br>指定図書：川村隆彦(2011)『ソーシャルワーカーの力を高める理論・アプローチ』中央法規   |   |     |     |               |        |       |                |
| 授業外における学修及び学生に期待すること   |   |     |     |               |        |       |                |
| ① 授業内で、次回までの予習・復習を提示する。指定された内容を実施してくること。<br>② 出席は最低限のルールとする。やむを得ず遅刻・欠席する場合は、直ちにその旨を安藤宛に、メールにて(k-ando@niu.ac.jp)に連絡をすること。<br>授業内での居眠りや私語、携帯電話の無断使用などは厳禁とする。   |   |     |     |               |        |       |                |

| 回  | テ ー マ                   | 授 業 の 内 容                                       | 予 習 ・ 復 習                                     |
|----|-------------------------|---|---|
| 1  | オリエンテーション<br>ひきこもり・家族支援 | 授業の概要、進め方、評価等の確認を行う<br>事例をもとに、ひきこもり・家族支援について学ぶ。 | 予習:119-125 を読んでくる。<br>復習:演習日誌をポートフォリオにて提出する。  |
| 2  | 児童虐待                    | 事例をもとに、児童虐待について学ぶ。                              | 予習:125-128 を読んでくる。<br>復習:演習日誌をポートフォリオにて提出する。  |
| 3  | スクールソーシャルワーク            | 事例をもとに、スクールソーシャルワークについて学ぶ。                      | 予習:128-132 を読んでくる。<br>復習:演習日誌をポートフォリオにて提出する。  |
| 4  | アルコール依存症の回復途上における支援     | 事例をもとに、アルコール依存症の回復途上における支援について学ぶ。               | 予習:132-136 を読んでくる。<br>復習:演習日誌をポートフォリオにて提出する。  |
| 5  | 認知症                     | 事例をもとに、認知症について学ぶ。                               | 予習:136-139 を読んでくる。<br>復習:演習日誌をポートフォリオにて提出する。  |
| 6  | ホームレス                   | 事例をもとに、ホームレスについて学ぶ。                             | 予習:142-145 を読んでくる。<br>復習:演習日誌をポートフォリオにて提出する。  |
| 7  | 精神科救急                   | 事例をもとに、精神科救急について学ぶ。                             | 予習:149-154 を読んでくる。<br>復習:演習日誌をポートフォリオにて提出する。  |
| 8  | 発達障害者支援                 | 事例をもとに、発達障害者支援について学ぶ。                           | 予習:159-162 を読んでくる。<br>復習:演習日誌をポートフォリオにて提出する。  |
| 9  | 医療観察法の対象者               | 事例をもとに、医療観察法の対象者について学ぶ。                         | 予習:163-170 を読んでくる。<br>復習:演習日誌をポートフォリオにて提出する。  |
| 10 | サービス評価                  | 事例をもとに、サービス評価について学ぶ。                            | 予習:190-193 を読んでくる。<br>復習:演習日誌をポートフォリオにて提出する。  |
| 11 | 地域福祉計画                  | 事例をもとに、地域福祉計画について学ぶ。                            | 予習:193-197 を読んでくる。<br>復習:演習日誌をポートフォリオにて提出する。  |
| 12 | ケースカンファレンス①             | 自分でつくった事例をもとに、ケースカンファレンスを開く。                    | 予習:ケースカンファレンスを準備する。<br>復習:演習日誌をポートフォリオにて提出する。 |
| 13 | ケースカンファレンス②             | 自分でつくった事例をもとに、ケースカンファレンスを開く。                    | 予習:ケースカンファレンスを準備する。<br>復習:演習日誌をポートフォリオにて提出する。 |
| 14 | ケースカンファレンス              | 自分でつくった事例をもとに、ケースカンファレンスを開く。                    | 予習:ケースカンファレンスを準備する。<br>復習:演習日誌をポートフォリオにて提出する。 |
| 15 | ケースカンファレンス              | 自分でつくった事例をもとに、ケースカンファレンスを開く。                    | 予習:ケースカンファレンスを準備する。<br>復習:演習日誌をポートフォリオにて提出する。 |